

危険業務従事者

叙勲受章の栄誉に輝く

警察官や消防署員など危険性の高い仕事に従事した人の功労をたたえる危険業務従事者叙勲で東浪見にお住まいの早川六也さんが瑞宝単光章を受章されました。

早川さんは、警察官として38年間勤務され、館山、大原では外勤を担当し、管内パトロールや警察広報紙の作成配付を行われたそうです。

その後は、東金で交通課勤務を経て、交通安全協会の事務局を10年間務められるなど、多年にわたり地域の防犯、安全に尽力されました。



善行表彰を受賞

吉村 久さん

10月16日、日本善行協会による秋季善行表彰者の選考委員会が行われ、当町にお住まいの吉村久さん（61歳）が表彰者に選ばれました。

これは、永年にわたり地域において顕著な善行をされた方を表彰するもので、今回58回目を迎えます。

吉村さんは、昭和43年以来、町内の通学路や神社周辺のゴミや落ち葉などの清掃活動を続けています。その善行が評価され、今回の表彰になりました。



厚生労働大臣表彰を受賞 一宮町民生委員児童委員協議会

11月7日に日比谷公会堂で平成二十一年度全国社会福祉大会が行なわれ、一宮町民生委員児童委員協議会が厚生労働大臣表彰を受賞し、代表で渡辺利廣会長が賞状を受け取りました。

この大会は、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあつた方々を表彰して一層のご活躍を期待するとともに、わが国社会福祉の更なる充実をめざす機会とする目的に毎年行なわれていて、今年は、全国から1500人が参加しました。



栄養改善関係労働者知事表彰を受賞 一宮町食生活改善会

10月29日に千葉県栄養改善大会が行なわれ、一宮町食生活改善会が地区組織部門で知事から表彰されました。

当会は、地域住民の食生活の改善を図り、疾病的予防及び健康の保持増進をし、明るい家庭生活を確立することを目的に、食環境の変化に応じた様々な活動を展開しています。

また今回、食生活改善活動に15年以上従事した推進員4人も、「千葉県食生活改善協議会会長表彰」を受賞されました。



一宮町赤十字奉仕団 が表彰されました

11月9日に千葉県文化会館大ホールで、日本赤十字社千葉県支部赤十字奉仕団創設六十周年記念大会が行なわれました。

この大会で活動年数が十五年以上で、他の範となると認められる団体、個人が表彰され、一宮町赤十字奉仕団(団体の部)と吉野清江さん(個人の部)に銀色有功章の楯が贈られました。また、永年継続して積極的に奉仕団活動を行つている奉仕団委員長の渡邊年子さん他18人に支部長感謝状が贈呈されました。



103万円の寄附をいただきました ふるさと応援寄附

大阪市にお住まいの金井万里子さんから100万円のふるさと応援寄附をいたしました。金井さんは子どもの頃、戦争で一宮町の東浪見に疎開され、東浪見小学校で4年間過ごされたことがあります。一宮にふるさととしての思い入れがある方です。現在は大阪で産婦人科医をなさっています。

また、東浪見にお住まいの吉川千吉さんからも3万円ふるさと応援寄附をいただきました。お二人からいただいた寄附金は、一宮の新しい町づくりに活用させていただきました。ありがとうございました。

寄附件数	寄 附 金 額
4件	1,050,000円

寄附金の状況

「ふるさと」一宮にご寄附いただき誠にありがとうございました。11月末現在の一宮町ふるさと応援寄附の状況は次のとおりです。



農産物や加工品を展示販売 第30回一宮町農林商工祭

11月3日に一宮町保健センター前を会場に、町民の皆さんとの交流を目的とする一宮町農林商工祭を開催しました。

「祝い餅投げ」では、我先にとステージ前にお客さんが集中し、身動きできないほどの賑わいででした。

このほかに、農産物や加工品などが格安で販売され、ステージでは踊りや太鼓などが披露されました。当日は、肌寒い一日にもかかわらず、大勢のお客さんが訪れ、大盛況でした。

福祉バザー収益金の一部を寄附 明るい社会づくり推進協議会

明るい社会づくり推進協議会は、毎年福祉バザーを行い、収益金の一部を寄附する活動を続けています。今年は、10月26日に一宮町役場西側駐車場で福祉バザーを開催しました。

11月12日に同協議会の伊藤裕三さんと関正勝さんが福祉バザー開催を報告し、寄附金を玉川町長に手渡しました。この寄附金は一宮町社会福祉協議会が受理して、福祉事業に活用させていただきます。



災害に即応できる

救命訓練を実施

長生郡市広域消防団第4支団は、11月9日に一宮町GSSセンターで秋季訓練を行いました。

今回の訓練では包帯法や搬送法などの応急手当訓練やAEDの使用方法などについての訓練など火災現場や災害時に即応できる実践的な内容でした。

また、11月19日には、第2分団第2部(3区～7区・2)に新車の小型ポンプ付積載車が配備されました。今までのポンプ自動車より機動性が向上し、幅広い消防団活動が可能になりました。



上総一ノ宮駅

東口開設の陳情を行う

玉川町長は、11月26日、東京のN H K ホールで開催された全国町村長大会に出席した後、地元から選出された4人の国会議員、森英介法務大臣と椎名一保参議院議員、水落敏栄参議院議員、石井準一参議院議員にJR上総一ノ宮駅東口開設の陳情を行いました。

この陳情には、一ノ宮駅を利用される機会が多い睦沢町、長生村、白子町の各町村長も同行されました。



四季折々の草花が彩る「町の玄関」

J R 上総一ノ宮駅前のロータリー

(神門踏切手前)の花壇には、四季折々の草花が並んでいますことに皆さんお気づきでしょうか。これは、近隣の方々による活動で、町の玄関である駅前を訪れる人々が少しでも癒してくれる

ならとの思いで行っているそうです。忙しい毎日を過される人々の足元に小さく揺れる可憐な花々や季節感あふれる草木、ちょっとり心が休まるそんな空間を皆さんも大切にしましょう。

また活動されている方も、「花壇へのタバコの投げ捨てや自転車の放置をしないように」と願っています。

働くことの楽しさ厳しさを学ぶ

中学生が職場体験

一宮中学校の2年生114人が、11月11日から3日間、町内の38事業所で、職場体験を行いました。

この体験を通して生徒たちは、働くことの厳しさを学ぶとともに、達成の充実感から楽しさや喜びを感じ取ったことと思います。

この体験学習は、生徒が自ら学習や諸活動に取り組める力や、社会生活上のマナー・ルールを知り、社会の一員としての自覚や社会性を身につけることを目的にし、今年で8年目を迎えました。



保育所のおいしい給食 「いただきます」



11月27日に、玉川町長が保育所の給食の様子を見ながら、子どもたちと交流を深めるため、一宮保育所を訪問し、年長児の子どもたちと一緒に給食を食べました。

この日のメニューは、さつまいもコロッケ、せんキャベツとミニトマト、小松菜、豆腐、油揚の味噌汁でした。

町長の突然の訪問に子どもたちは驚いていましたが、おいしい給食で和やかなひとときをすごし、食べ終わると「町長さん、また来てください」と言っていました。



お点前ちようだいいたします

原保育所 茶道体験

町内の保育所では、日本の伝統文化である茶道を通して、礼儀作法や言葉づかいを身につけてもらおうと、年長児を対象に年3回茶道体験を行っています。

12月1日には、中央公民館で原保育所の子どもたちが茶道を教わりました。

「お先に」「お点前ちようだいいたします」と、どの子も真剣なまなざしでお茶席の作法を教わりました。

干菓子や薄茶の飲み方も覚えたので、この日は自分たちでお茶を点てお友だちに飲んでもらいました。

町長室がつづいています

No.2



一宮町長
玉川 孫一郎

ゼロ予算事業

長生郡市の合併が破綻した昨年9月、わが町一宮町が厳しい財政状況の中でどうしたら自立の道を歩めるのか、魅力的な町をつくることができるのか、そのヒントを探しに長野県の泰阜村を訪問したことあります。

泰阜村は田中前長野県知事が村長さんの自宅に住民票を移したことでの話題になつたところですが、国の介護保険制度がスタートする前から日本一の在宅福祉・医療の村として有名な村です。役場で松島村長さんから村づくりのお話を伺いました。

村の診療所で職員として働いていた松島村長は、どんなに医療が発達しても、人は老いて死んでゆくものであり、村の発展のために一生懸命に働いてきた高齢者が安心して自宅で老後をおくり、幸せな老後を迎えてほしいと村長選舉に立候補したそ

秦阜村では、「お金がなくとも、汗と

職員二人が組になつて（ひとりは運転）豆腐一丁と一升瓶をぶら下げて、相手のお宅に伺います。お酒とつまみは飲む人が出し合います。厳しい財政状況のなかで10月、一宮町の来年度の予算編成作業がスタートしました。私はこの泰阜村のゼロ予算事業の例を出して職員にお金をかけないで汗と知恵でできる住民サービスをぜひ提案してほしいとお願ひしました。どんな夢のある提案が職員から出てくるか、今楽しみにしているところです。



知恵でできることを提案してほしい」と予算編成のときに話したら、ある職員から「俺は何の能力もないけど、お酒だけは飲める。夜さびしい人の晩酌の相手をつとめてもいい」と提案があつて、「お酒は樂しくふたり酒」です。「お酒は樂しくふたり酒」と命名したのは、村長さんだそうです。